



特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年7月16日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府吹田市川園町1-2

氏名 社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院
院長 島 俊英

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06 (6382) 1521

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和6年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院
事業場の所在地	大阪府吹田市川園町1-2
事業の種類	83：医療業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	173.081 t	全処理委託量	173.081 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	173.081 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	173.081 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	184.840t
	前年度	171.000t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 2020年度より運用開始しています。		
※事務処理欄		

有償物量

不要物等発生量

排出量

別紙6のとおり

② 自ら直接再生利用した量

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

③ 自ら直接埋立処分した量

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

④ 自ら中間処理した量

⑤ 自ら中間処理した後の残存量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑦ ④のうち中間処理により減量した量

項目	実績値
① 排出量	
②+③ 自ら再生利用を行った量	
⑤ 自ら熱回収を行った量	
⑦ 自ら中間処理により減量した量	
③+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩ 全処理委託量	
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	
⑫ 再生利用業者への処理委託量	
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

別紙6(産業廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書)
(令和6年度実績)

単位:トン/年

コード	名称	計 画 の 実 施 状 況														②+④		③+⑤	
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量(自ら熱回収を行った量)	⑥自ら中間処理した後の残量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後の再生利用した量	⑨自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量(全処理委託量)	⑫⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量(再生利用)	⑬⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量(熱回収)	⑭⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量(熱回収)	⑮⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量(熱回収)	⑯⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量(熱回収)	⑰⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量(熱回収)	⑱⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量(熱回収)
7000	引火性廃油																		
7010	引火性廃油(有害)	0.490									0.490	0.490				0.490			
7100	強酸																		
7110	強酸(有害)																		
7200	強アルカリ																		
7210	強アルカリ(有害)																		
7300	感染性廃棄物	170.510									170.510	170.510				170.510			
7410	廃PCB等(下記以外)																		
7411	廃PCB																		
7412	PCB廃棄物																		
7413	PCB処理物																		
7421	炭素粉等(飛散性)																		
7422	指定下水汚泥																		
7423	鉛さい(有害)																		
7424	燃え殻(有害)																		
7425	廃油(有害)																		
7426	汚泥(有害)																		
7427	炭酸(有害)																		
7428	廃アルカリ(有害)																		
7429	ばいじん(有害)																		
7430	13号廃棄物(有害)																		
7440	廃水銀等																		
	合計	171.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	171.000	171.000	0.000	0.000	171.000	0.000	0.000	0.000	0.000

※上記に分類できない特別管理産業廃棄物がある場合に限り、当該産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。
※数量に關しては、小数点以下9桁表示として記入してください。
※様式第二号の九の第2面に記載された特別管理産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①～⑮)に示す量を入力。